



2026. 9. 11

JTU

ほっきゅう

NO. 34

北九州市教職員組合にゅうす



「8・6平和のつどい」開催される！④

テーマ 「日本は戦争するの？ わたしはいや ヒロシマ・ナガサキを忘れたの？」

NO. 33 からのつづきです

【引野中学校合唱部のエピソード】

点から線へ

引野中学校合唱部の「平和のつどい」への出演は、今年で5年目となりました。毎年、少ない人数ながら参加を続ける生徒たちは、「来年も出たい！」と口をそろえます。大きな拍手や会場と一緒に歌う喜びを通して、「平和だからこそ歌える」ということを実感しているからです。今年は8月6日に平和記念式典を視聴し、8時15分に黙祷。その後、戦争や平和について語り合い、「自分たちにできることを考えたい」と話しました。家族と式典を見たことで、初めて戦時中の話を聞いた生徒もいました。また、初めてステージを見た保護者が、戦争や平和について考え、「選挙のことも考える」と話してくれたことも大きな一歩でした。生徒の歌声から、家族へ、そして次の世代へ——。小さな「点」が少しずつ「線」になっています。「継続は力なり」。これからも平和への思いをつないでいきたいと思います。



・昨年は参加できず、今年は日曜日で参加しやすかったです。日本は、島国で、今起こっている戦争が他人事、遠い世界のように現実感が少ないですが、毎日の忙しさや日々の生活に追われぼんやりしている間にどんどん戦争の方向に向かっていくことを忘れてはいけないと改めて感じました。もっともっとたくさんの方に集まって欲しいです。私も友人などに宣伝します。(40代)

・平和はそこにあるものではなく、すべての人々と創っていくものだと思います。近い未来にあらゆる国の戦争がなくなり、平和の鐘が鳴りひびくことを望みます。(60代)

・とても新鮮な体験で、改めて「戦争を実行してはいけない」ということを知ることもできた他、何も知らない実体験を多く知り、自分の知識として戦争を受けつづ一員になれたことがうれしかったです。今回は朗読と歌としても参加させていただき、楽しむこともできました。この活動を通して、「人」はしようと思えば簡単に繋がれて、一つのことをなしとげられることを再実感できました。最高のイベントでした！！(10代)



・毎回演出構成がすばらしく身を乗り出して聞かせていただいています。若い方々のがんばりに頭が下がります。(70代)

・戦後と言われて80年が過ぎました。テレビ、新聞を読むと、今はもしかしたら「戦前」ではないのだろうかと思うようになりました。「平和が空気」のように思っていますが、空気がなければ生きていけません。一人一人の自覚がこの平和を守る、続けることにつながりますように。(60代)

・日曜日のせいか例年よりも参加者が多いように感じました。「ヒロシマのある国で、しなければならないことはともかく火種を消すことだろう！！」⇒今、日本に生まれ育った私たちがすべきことだと強く思います。憲法を変えてはならない！！(50代)



NO. 35 へつづきます



わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！

///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail: jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

